Nagasaki IT Solution Industry Association

平成29年新春産学官交流会



中野会長 挨拶

平成29年1月26日に平成29年新春講演会・産学官交 流会を開催しました。

会長挨拶

明けましておめでとうございます。

本日ご講演いただきましたIPAの下田様をはじめ長崎各界の皆様、NISA会員の皆様、本日は誠にありがとうございます。

昨年、日本では熊本地震をはじめ自然災害の多い年でしたが、経済面では雇用情勢が改善するなど良い面も見えてきています。

その一方で、世界経済はトランプ大統領の誕生やイギリスのEU離脱といった保護主義の流れが出来てきており、日本にも大きな影響がでてくるものと思います。

国内に目を向ければ、少子高齢化や人口減により地方経済の衰退は確実に進行していくと思います。中でも長崎県の人口減は顕著であり、2040年には2010年と比較して26.5%減少すると予測されています。

このような状況で、IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等の活用が、今後の地域産業や社会にとって、生産性や付加価値の向上に不可欠の技術になると思います。

長崎県における中小企業や産業界の取り組みの中で、私達IT業界の役割はますます重要になってきていると思います。

長崎県や長崎市が推進している「地方版IOT推進 ラボ」構想に私共も積極的に参加しています。 また情報セキュリティ対策は、ICT活用の重要性 が叫ばれる中、大変重要なものとなってきています。 サイバーセキュリティと情報セキュリティ分野は 私共にとって重要ですが、まだまだカ不足であることは否めません。

そこで、先日の長崎新聞でも紹介されましたが、 我々NISAは、既にIoTのワーキンググループ を作って活動を開始しています。



宇戸次長



濵口次長

長崎県産業労働部 宇戸次長、長崎市経済局商工部 濵口次長にご挨拶を頂きました。

情報産業協会としての役割を果たすべくここにお集まりの皆様と連携して参りたいと考えています。 最後になりますが、ANIA(全国地域情報産業団体連合会)の全国大会が今年の11月9日、10日に長崎で開催されることになりました。 長崎開催は実に23年ぶりです。

全国から300名を超える参加者が予定されています。 講演は、(株)ジャパネットたかた 創業者の現在 (株)A and Live 代表取締役 高田 明氏を予定しています。 ここにご出席されている皆様のご参加をどうぞよろしく お願いします。

以上、簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



長崎工業会 西会長



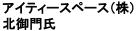
県立大学 情報システム学部 永野 学部長



産官学交流会 会場

「我が社の一押し」







(株)ディーエスブランド 清水氏

■アイティースペース(株)

テーマ: 「日本情報セキュリティ推進協会(JISSA)に よる ISO27001 (ISMS) 認証取得の紹介」

1. 認証取得を目指した経緯として、認証が契約の条件とする顧客が増えてきた。

2. 取得に取組み判明したことは、情報資産のセキュリティを管理する枠組みを策定し、これを実施するに当たり規格を定めることから始めたが、具体的なルールが定められてなく、自分達でルールを定めることは意外であった。これは、各企業の組織にあったルールでないと守ることが難しくなるためであることが理解できた。また、ルールの文書化は臆するような量ではありません。

3.計画、実施、検証、改善 (PDCAサイクル)での運用 について説明がありました。

4. 団体認証(JISSAを情報セキュリティ管理の母体として審査及び認証する仕組み)では、費用負担が少なくなる。ただし、加盟企業の不備により団体全体の認証が取消される可能性もある。利点も多く、これから取得する企業にとって非常に参考になる話でした。

■(株)ディーエスブランド

テーマ:「進化するビジネスユース ホームページ ソリューションおりこうブログ」

簡単ホームページソリューションである商品"おりこうブログDS"を3つの仕組みから紹介していただきました。

1. ホームページ集客につなげる

- ・パソコンで作成した画面をスマートフォン閲覧 向けに自動的に最適化する
- SNSと連携する
- ・会社案内を出力できる
- ・オプションで英語・中国語・韓国語にも対応

2. ホームページ印象アップ

- お客様の要望をヒアリングすることで、始めから 希望にそったものができる
- ・基本的なシステムとテンプレート構成
- ・YouTube動画掲載、Ricoh imageing社のカメラの360°画像を簡単に埋め込むこともできる
- オプションで用途やテーマを絞ったミニ・ホームページを複数作ることができる

3. 運用を長続きさせる

- 専門スキルをもったスタッフによる遠隔サポート
- ・ヒートマップによりクリック箇所の可視化や頁 毎のアクセス状況等が分かり改善や調整につな げることができる
- ・遠隔管理によりリビジョンアップする。 この取組みにより、日本国内導入数13,000件はもとより東南アジアへの展開やベトナムへアウトソーシン グも行っている。

「講演会」





(独)情報処理推進機構 下田氏

■(独)情報処理推進機構

演題:「IT人材白書2016から読み解くIT人材の今と未来について」

IT人材白書は毎年同じ調査をするのではなく変化の少ない事項より時代を反映したトレンドにフォーカスをあてることで、時代にあった調査結果となる工夫をし、IT人材白書2016では、全国のIT企業、ユーザー企業各約3,000社、その他の企業や個人に対して聞き取り調査を行っている。そこから見えてきた内容を元にメッセージやポイントをご講演いただきました。

1. メッセージ

(1) 経営者にむけたメッセージ

多様な文化へ踏み出す覚悟 ~デジタルトランス フォーメーション ~というサブタイトルは、以下 のことを示している。

既存のビジネスを変革する革新的なITサービスが世界中で次々に生まれている。IoTやビッグデータ、人工知能など技術革新の進展がこの動きを加速している。インターネットが促すグローバルでボーダーレスな世界を考えたとき、日本のIT人材も否応なしに多様な文化や人と交わっていかなければ蚊帳の外におかれてしまうのではないかという危機感が込められている。

(2) IT企業に向けたメッセージ

受託開発、人材派遣が主流ではあるが成功しているアメリカの企業のように付加価値を高めることで利益率を高めていくことが必要ではないか。

(3) ユーザー企業へのメッセージ

IT部門はITを有効に活用し各部門を有機的に繋げることで企業価値を高めることが必要ではないか。

(4) 情報教育機関へのメッセージ

他分野・教育機関とも協力して知識や技術を学ぶ場を提供し未来につなげてほしい。

(5) IT人材個人へのメッセージ

急激な技術・データ革新が起きている今、自己研鑚を継続し多様な人材と交わることが必要である。

2. ポイント

(1)日本の置かれている立場をEUから見た場合EUではIT企業以外の企業におけるIT人材の割合は52%だが日本では24%程度であり企業自体がITを活用する組織となっていないのではないか。よってEUはITによって付加価値を高める戦略であるのに対し日本では人手に頼っているのではないかと推測される。またEUではIT人材はマネジメント層へシフトしているのに対し日本では変化が見られないことから日本のIT人材は相変わらず下請け的な業務を担当しているのではないか。社会保障・税番号(マイナンバー)制度に伴うシステム開発や

複数の大手銀行のシステム統合に伴う受託開発といった一時的な特需が背景にあると推測される。

(2) IoT、ビッグデータ時代に挑む姿勢が見えない IT 企業

①データ収集②データ蓄積・解析③サービスセンサ やビッグデータの活用により、新たなビジネスサイ クル①→②→③→①が実現して、新たなサービス提 供始まってきているが、個々の技術や枠組みを超え て、IoT全体を俯瞰できる人材が求められている。

(3). IoTに携わる技術者の新しい学び方専門分野を持つ技術者に必要な技術力として、全ての技術者に共通して「顧客分析力、企画力」、組込み技術者は「アプリケーション技術」、データ活用人材は「データ解析」、ネットワーク技術者は「ネットワーク技術」に加えては表した。

ネットワーク技術者は「ネットワーク技術」に加え 「情報セキュリティ技術」が重要視されている。 これに対して、ネットワーク技術者やデータ活用 人材の方々は、スキルアップのために9割を超え る方が個人負担で雑誌や書籍で独学したり、所属 企業以外の研修 、セミナー、コミュニティ活動 を行っている。

(4). 自らの技術力で生きるフリーランス 受託系の割合が少なく、ウェブサービス企画・ 構築やコンサルタントが多い。

フリーランスになった目的は、「ライフプラン」 に合わせるためが最も多く続いて「収入を増やす ために」となっている。

仕事の満足度は、IT企業のIT技術者(企業雇用者) に比べ、満足度が高い。

顧客の獲得方法は、39才以下の若い世代では、 コミュニティ等の個人のつながりやクラウドソー シング等多様な方法となっている。

(5). 情報教育動向

プログラミング、アルゴリズムなどのコンピュータ 基礎理論が中心になっている。特に機械系、建築、 環境系、社会・経営工学では、データ解析の割合が 高い。電気・電子系では、ソフトウェア工学等情報 システムの基礎、ネットワーク、データベース、 セキュリティ等の技術要素が情報系と同程度の割合 で実施されている。

IPAでは情報処理技術者試験という制度を持っており、時代の変化に対応できるスキル標準評価制度 (iコンピテンシディクショナリ: iCD) があります。

3. その他

IT企業の売上高は約21兆円、その内、東京・神奈川・大阪で75%、愛知・福岡を加えると80%、その他の県では1%程度の数字です。 本来情報サービスはどこでもできるのであって、南国の自然豊かな場所で優雅な生活をしながら仕事をするのが理想であって欲しいと思っていたが、現実は全く逆になっている。その理由は大型案件を持つ顧客に近ばなっている要あると考えられる。ただし、近年、会議社内研修では、WEB会議システムやWEB研修シムとのでは、WEB会議システムやWEB研修シムが多くみられるようです。これから先、必ずしも近くにいる必要がなくなれば、地方創生にIT産業与できるということがあるのではないかと思う。

平成29年度研修スケジュール



・PMBOKに基づいたプロジェクト	5/17 ~ 19
マネジメントの実践 ・仕事の段取り力養成講座	5/31~6/2
・江事の段取り刀養成調座 プロジェクト型業務の遂行能力を身につける	
・データベース設計ワークショップ	12011
~ 概念設計、論理設計、物理設計~	6/14~16
・ネットワークとセキュリティの基礎	6/28~30
・SEのための書く技術、考える技術	7/5 ~ 7
より良い機能定義書や作業手順書の書き方	1/0 1
・パフォーマンスを上げるSQLf1-=1/ング	7/12~14
· 業務分析設計概説	7/19~21
(システム設計における要件定義のまとめ方	
・信頼されるSEに求められる問題解決スキル	7/26~28
・無線Lanの運用管理	8/2~4
仕組みからセキュリティ対策、トラブル	
シューティングまで	
・C#によるオブジェクト指向プログラミング	
(基礎編)オブジェクト指向からデータベースアクセスま゙	で
・ITプロジェクトにおける次期若手リーダー育成	
リーダー育成	8/23~25
・実務で活用するUNIX/Linuxの必須技術	8/30~9/1
・システム開発・設計の基礎	9/6~8
開発方法論、各種設計作業の定石	
・対人能力強化のためのビジネス	0/10 15
コミュニケーション	9/13 ~ 15
・お客様へのソリューション提案のための	0./00 00
統計数学	9/20~22 10/4~6
・サイバー攻撃におけるインシデント対応 ・Linuxサーバの導入と管理	10/4~6
・オブジェクト指向の本質に基づいた	10/11~13
アプリケーション設計	10/18~20
・ネットワークトラブルの原因分析技術	10/10/25~27
・PHPによるWebアプリケーション開発	11/15~17
	1/29~12/1
・ネットワーク管理者のためのネットワーク	1/20 12/1
セキュリティ	12/6~8
・フレームワークASP.NET MVCで開発する	,
Webアプリケーション	12/13~15
・IoTの事例から学ぶITプロジェクト企画	12/20~22
・プログラム開発における	
)/1/17 ~ 19
・ソフトウェア開発のためのモデリングとUI設計	1/31~2/2

学校訪問、NISA企業説明会

学校を訪問しNISAの活動や会員企業の説明を行いま した。近年は都市圏への就職率が高くNISA会員企業 でも採用に苦戦しており企業側が受け身にならず自 社のPRをすることで採用を有利にすることが重要で す。今回の訪問では、生徒に感想を聞くことができ ましたのでその一部をご紹介します。

質問1.企業交流会に参加前と参加後において、長崎 県内企業を就職活動の際の選択肢とすること に変化はありましたか?

回答1.参加前から考えていた(26.2%)、参加後考える ようになった(50.8%)、参加後考えなくなった (0%)、参加前も今も考えていない(14%)。 (県内就職を考える内訳)

・県内しか考えていない

できれば県内が良い (16.3%)

県内外どちらも検討している(59.2%)

どちらかといえば県外だが (16.3%) 県内も検討している

質問2. この交流会を通じて、これまで知らなかった 長崎県内企業を知ることができましたか?

回答2. 県内企業を知ることができたと考えている生 徒が100%となり、交流会により企業PRにつな がったと考えられる。

質問3. 今日の交流会を終えて、実際に企業を見学し たいと思いますか?

回答3.はい(70.5%)、いいえ(29.5%)

質問4.この交流会は役に立ちましたか?

回答4. 大変役に立った(62.8%)、役に立った(35.9%)

- すごくわかりやすく説明してくださり、IT関係の 仕事がわかりました。県外で若いときに働いて、 県内に帰ってくるのもいいなと思いました。
- とても勉強になりました
- とても分かりやく楽しかったです、県内就職を 考えました
- ・職場内の雰囲気等、詳しく教えてくれて良かった
- ・福利厚生等もっと教えて欲しかった。
- 休みはどういう感じになっていますか



いさはやコンピュータ・カレッジ



長崎県立諫早商業高校(情報科)

IoT&自動運転ビジネス化推進WG

IoTは大きなビジネスチャンスの可能性を秘めていること は、周知の通りです。NISAとして、事業化を推進するた めにワーキンググループ(WG)を立ち上げました。継続し てWGへ皆様の参加を受付けております。

また、長崎県および長崎市においても、経産省の「地方 版IoT推進ラボ」として「長崎県IoT推進ラボ」および「長崎 市IoT推進ラボ」が選定され、県下産業のIoT化と事業 化に向け、協会として連携し推進していきます。

第39回全情連大会ANIA長崎大会

『ICTで地方創生、ふたたび出島から!』

会員皆様のご参加、ご支援をお願い致します。

開催日: 平成29年11月9日(木)、10日(金)

場 所:ホテルニュー長崎

主 催:一般社団法人 全国地域情報産業団体連合会 -般社団法人 長崎県情報産業協会

後 援(予定):経済産業省、総務省、九州経済産業局、 九州総合通信局、長崎県、長崎市

- 11月9日(木)
- ①ANIA長崎大会、ANIA30周年記念式典
- 2 講演

I:㈱A and Live 代表取締役 髙田 明氏 (株) ジャパネットたかた 創業者)

演題:「夢持ち続け日々精進」

Ⅱ:長崎総合科学大学 教授 ブライアン・バークガフニ氏 演題:「長崎の『和華蘭』文化に学ぶ」

- ③懇親会
- ■11月10日(金)
- ①エクスカーション(軍艦島上陸、市内観光)
- ②ゴルフ(パサージュ琴海アイランドゴルフクラブ)

IPA「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2016表彰

長崎県各学校から、679作品と多くの応募があり、下記 作品が表彰されました。NISA会長賞受賞者には、表彰 状と副賞(図書カード)を贈呈しました。

2017年も多くの応募をお願いします。



秀賞 〈グーグル株式会社〉





NISA会長賞







全国優秀賞(グーグル株式会社)

[ポスター] 松浦 美幸さん 金井田 恵笑さん 長崎県立清峰高等学校 1年 [ポスター] 後藤 由梨さん 長崎県立佐世保北高等学校 1年

> 発 行 元: 一般社団法人 長崎県情報産業協会 〒850-0032 長崎市興善町4-6-701

電話:095-824-0332

発行責任者 : 会 長 中野 一英 平成 29 年3月31日 第1版 発 行 日:

(文責:総務広報委員会 梁瀬理事)